

1999年10月19日

県民意識調査
「21世紀に向けた県政の課題」
報告書

(1999年9月24日~10月16日調査)

調査の設計

概要と単純集計

調査の結果

調査票

NAPOR

長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

調査の設計

調査の目的

地方分権一括法が先の通常国会で成立し、2000年4月から原則的として施行される。また、自民・公明連立協議では大がかりな市町村合併の推進が合意され、制度面での「地方の時代」が本格的に踏み出す。

県下では来年10月、吉村知事5期目の任期満了を迎え、21世紀の長野県を担う新たな体制がスタートする。長野冬季五輪の開催を機に、高速交通網の整備が進み、観光や地域交流の面でも活性化された半面、長引く不況のあおりで、産業面ではそのメリットを生かせない実情がみられる。

21世紀に向けて、長野県はどのような課題を、どのように担っていけばよいのか - 県政に対する県民の要望や期待感を探る。

調査の設計

調査対象 長野県内に住む20歳以上の男女1200人

抽出方法 層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出

調査方法 郵送

調査期間 1999年9月24日～10月16日

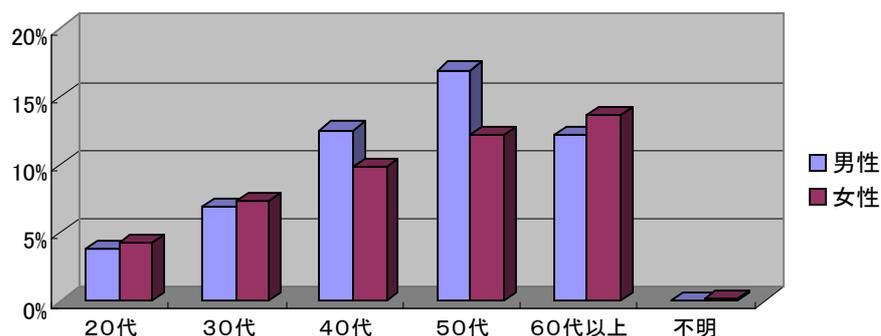
調査地点 17市22町13村の計120地点（1地区各10人）

回収結果 有効回収数（%） 707人（58.9%）

サンプルの内訳

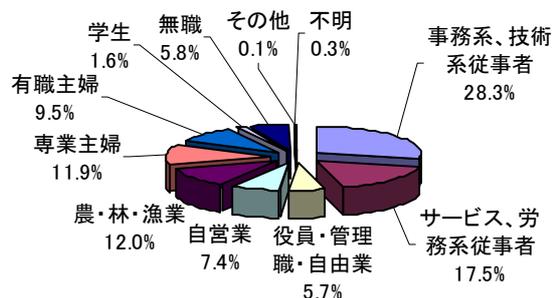
< 性別と年代 >

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
男性	371 52.5%	27 3.8%	49 6.9%	89 12.6%	120 17.0%	86 12.2%	0 0.0%
女性	336 47.5%	30 4.2%	52 7.4%	70 9.9%	86 12.2%	97 13.7%	1 0.1%



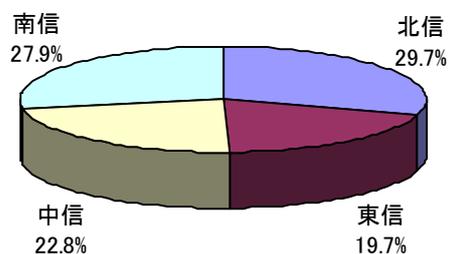
< 職業 >

事務系、技術系従事者	200	28.3%
サービス、労務系従事者	124	17.5%
役員・管理職・自由業	40	5.7%
自営業	52	7.4%
農・林・漁業	85	12.0%
専業主婦	84	11.9%
有職主婦	67	9.5%
学生	11	1.6%
無職	41	5.8%
その他	1	0.1%
不明	2	0.3%



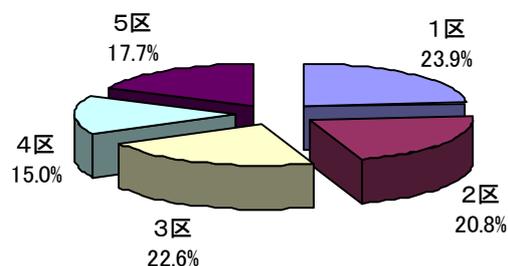
< 地域別 >

北信	210	29.7%
東信	139	19.7%
中信	161	22.8%
南信	197	27.9%



< 選挙区別 >

1区	169	23.9%
2区	147	20.8%
3区	160	22.6%
4区	106	15.0%
5区	125	17.7%



概要と単純集計

県政に対する関心は、全体的な地方分権の流れに加えて、1年後に控えた知事改選に向けて、徐々に高まっていくことが予想される。長野冬季オリンピックで“付加価値”のついた長野県が21世紀に向けて、取り組むべき最優先課題のトップには「福祉・医療」、2番目には「行財政改革」がランクされた。

長野の暮らしや地域が以前より良くなったと評価されているのは「交通」「生活環境」だった。その半面、悪くなった点では「自然環境」と「学校教育」が上位に挙げられ「福祉」「行財政」に加えての積極的な取り組みを期待している。

県政に県民の声が反映されている度合いや、南北間格差の認識については、現状に対する厳しさが示され、県民との距離感が浮き彫りになった。県政の姿勢には「透明性」や「公平性」を重視する意向が出され、運営手法に対しては「県民の要望を積極的に」という注文がトップだった。県議会に対しては、行政チェックや政策提案の役割アップを期待する声が多い。

知事選に対する関心は高く、県政の課題やあり方に敏感な反応を示す人ほど、審判の機会に“待望感”が強い。

県下で良くなった分野 - 交通・生活環境・高齢者福祉

問1 あなたが長野県での暮らしや地域の状況について、以前に比べて良くなったと思うのは、どんな分野ですか。(3つ以内)		
交通	331	46.8%
ごみ・生活環境	259	36.6%
高齢者福祉	256	36.2%
情報・通信	210	29.7%
医療	203	28.7%
街の景観	156	22.1%
住宅	121	17.1%
自然環境	67	9.5%
女性の地位向上	66	9.3%
防災	59	8.3%
特にない	45	6.4%
学校教育	20	2.8%
青少年の育成環境	15	2.1%
その他	2	0.3%

県下で悪くなった分野 - 自然環境・学校教育

問2 あなたが長野県での暮らしや地域について、以前に比べて悪くなった、または足踏み状態だと思うのは、どんな分野ですか。(3つ以内)		
自然環境	310	43.8%
学校教育	288	40.7%
青少年の育成環境	275	38.9%
ごみ・生活環境	222	31.4%
交通	165	23.3%
高齢者福祉	125	17.7%
医療	122	17.3%
街の景観	95	13.4%
女性の地位向上	60	8.5%
防災	54	7.6%
住宅	43	6.1%
特にない	41	5.8%
情報・通信	28	4.0%
その他	12	1.7%

県民の活動 - NPO・ボランティア「活発」4割台

問3 あなたは、現在の県民レベルの活動について、他県と比べて、どんな印象をお持ちですか。		
A 住民運動		
かなり活発	16	2.3%
まずまず活発	216	30.6%
あまり振るわない	285	40.3%
まったく振るわない	42	5.9%
なんともいえない	148	20.9%
B NPO・ボランティア活動		
かなり活発	31	4.4%
まずまず活発	263	37.2%
あまり振るわない	243	34.4%
まったく振るわない	34	4.8%
なんともいえない	136	19.2%

県政の優先課題 - 福祉・医療に続く行財政改革

問4 あなたが、21世紀に向けて長野県政が最も優先して取り組んでほしいのは、次の分野の中ではどれだと思いますか。		
福祉・医療	228	32.2%
行財政改革	105	14.9%
教育	82	11.6%
環境	81	11.5%
農林業	51	7.2%
交通	38	5.4%
商業・観光	35	5.0%
防災	21	3.0%
工業	14	2.0%
情報・通信	11	1.6%
特にない	4	0.6%
不明	37	5.2%

環境問題の取り組み - 「積極的に」8割に迫る

問5 あなたは、長野県政の施策について、次のような分野では、どの程度進めてほしいですか。		
A 環境問題への取り組み		
もっと積極的にあつてほしい	539	76.2%
現在の程度でよい	83	11.7%
なんともいえない	48	6.8%
不明	37	5.2%
B 女性の公職起用		
もっと積極的にあつてほしい	304	43.0%
現在の程度でよい	213	30.1%
なんともいえない	153	21.6%
不明	37	5.2%
C 情報公開の拡大		
もっと積極的にあつてほしい	407	57.6%
現在の程度でよい	178	25.2%
なんともいえない	85	12.0%
不明	37	5.2%
D 民間活力の導入		
もっと積極的にあつてほしい	420	59.4%
現在の程度でよい	126	17.8%
なんともいえない	124	17.5%
不明	37	5.2%

県政に求める発想・姿勢 - 上位に透明性・公平性

問6 あなたは全体として、長野県政にはどんな発想や姿勢を重視したいですか。(2つ以内)		
透明性	261	36.9%
公平性	181	25.6%
独自性	142	20.1%
企業感覚	126	17.8%
堅実性	107	15.1%
国際感覚	99	14.0%
先取性	99	14.0%
大衆感覚	91	12.9%
文化性	85	12.0%
調整力	59	8.3%
特にない	22	3.1%
その他	9	1.3%
不明	36	5.1%

県政運営に望む手法 - 「県民の要望を積極的に」

問7 あなたは全体として、長野県政が有効に運営されるためには、どのような手法がもっと強められたり、導入されればよいと思いますか。(2つ以内)		
県民の要望を積極的に組み入れる	434	61.4%
長野県独自の政策をアピールする	244	34.5%
市町村との協力を深める	235	33.2%
中央省庁とのパイプを太くする	106	15.0%
県選出の国会議員との連携を強める	105	14.9%
県職員の活力・アイデアを重用する	85	12.0%
県議会との連携を密にする	53	7.5%
中央の有力政治家の支援を仰ぐ	23	3.3%
その他	10	1.4%
特にない	8	1.1%
不明	36	5.1%

要望・注文の伝え方 - 「市町村を通じて」圧倒的

問8 あなたは、県政の施策に対して、要望や注文があるとき、どんな窓口や方法で伝えたり、伝えようと思いますか。(すべて回答)		
市役所・町村役場を通じて	477	67.5%
県の関係機関・職員に	324	45.8%
市町村議員・後援会を通じて	278	39.3%
県会議員やその後援会を通じて	270	38.2%
住民運動団体に働きかける	223	31.5%
マスコミなどへの投書	203	28.7%
国会議員やその政党を通じて	130	18.4%
特別なことはしない	71	10.0%
その他	12	1.7%
不明	39	5.5%

財政健全化の施策 - 機構改革・人員削減に集中

問9 あなたは、国、県を通じての財政の健全化のためには、次の施策の中では、なにが優先されるべきだと考えますか。(2つ以内)		
機構改革や職員・人件費を減らす	466	65.9%
民営化を進める	238	33.7%
産業振興で税収を増やす	200	28.3%
各種団体、個人への補助金を減らす	139	19.7%
公共事業を減らす	122	17.3%
新税を導入する	12	1.7%
増税や公共料金を値上げする	7	1.0%
特にない	32	4.5%
不明	38	5.4%

県会の役割 - 「行政チェック熱心に」期待6割半ば

問10 あなたは全体として、長野県議会について、次のような役割をどの程度期待していますか。		
A 県行政のチェック機能		
もっと熱心であってほしい	472	66.8%
現在の程度でよい	77	10.9%
なんともいえない	120	17.0%
不明	38	5.4%
B 県行政と県民とのパイプ役		
もっと熱心であってほしい	494	69.9%
現在の程度でよい	92	13.0%
なんともいえない	83	11.7%
不明	38	5.4%
C 県行政への政策的な提案		
もっと熱心であってほしい	460	65.1%
現在の程度でよい	88	12.4%
なんともいえない	121	17.1%
不明	38	5.4%

県政の南北間格差 - 「かなりある」3割突破

問11 あなたは、長野県政にはいわゆる“南北間格差”があると思いますか。		
かなりある	221	31.3%
少しある	207	29.3%
あまりない	92	13.0%
全くない	16	2.3%
なんともいえない	133	18.8%
不明	38	5.4%

県民の声 - 県政に「反映されていない」6割に迫る

問12 あなたは全体として、長野県政に県民の声がどの程度、反映されていると思いますか。		
十分反映されている	3	0.4%
まずまず反映されている	150	21.2%
あまり反映されていない	369	52.2%
全く反映されていない	49	6.9%
なんともいえない	98	13.9%
不明	38	5.4%

来年秋の知事選 - 「関心ある」7割近く

問13 あなたは、来年秋に予定される県知事選に関心をお持ちですか。		
強い関心がある	120	17.0%
それなりに関心がある	364	51.5%
あまり関心がない	175	24.8%
全く関心がない	28	4.0%
なんともいえない	20	2.8%

今後の市町村合併 - 「進めるべき」4割半ば

問14 あなたは、現在の県下の市町村がさらに合併することについては、どう思いますか。		
積極的に進める方がよい	114	16.1%
どちらかといえば進める方がよい	194	27.4%
どちらかといえば進めない方がよい	160	22.6%
できる限り進めない方がよい	58	8.2%
なんともいえない	181	25.6%

政党支持 - 自民 25%、民主 17%、支持なし 44%

問15 あなたは、どの政党を支持しますか。		
自民党	179	25.3%
民主党	117	16.5%
公明党	17	2.4%
自由党	16	2.3%
共産党	29	4.1%
社民党	25	3.5%
その他の政党	2	0.3%
支持する政党はない	312	44.1%
不明	10	1.4%

